

広報とめ

MARCH 2008

3

No.71



時空を超えた「軽便こ」 スタッフの思い一つに

第10回登米市民劇場「夢フェスタ水の里」
～仙北鉄道物語～ (2/16・17)

主な内容

- ◎ 特集「長い歴史と伝統に支えられて」
- ◎ 青少年海外派遣事業「感動いっぱいの海外体験記」
- ◎ 消防防災センター完成/地震情報
- ◎ BDF事業の取り組み状況/消防団員募集
- ◎ 水道事故についてのお詫び
- ◎ 9町トピックス
- ◎ 市民の広場
- ◎ 市からのお知らせ・暮らしの情報

特集 長い歴史と伝統に支えられて

新田第一小・新田第二小・嵯峨立小・鱒淵小の校舎にお別れ

新田第一小学校



校舎（昭和35年）



開校90周年記念式典



PTA総会



授業参観



優勝杯を手に



校章審査会



修学旅行で新田駅を出発（昭和44年）

年次	主な出来事
平成20年（2008）	開校記念式典開催
平成19年（2007）	小・中連携委員会・新校舎建設説明会開催
平成18年（2006）	大田賞受賞
平成17年（2005）	市町村合併により登米市立新田第一小学校と校名変更。耐震度調査の実施により危険校舎認定。旧校舎使用禁止となり、4・5・6年生は新田中学校に移動。子どもフアームネットワーク全国交流会へ参加。農林水産大臣賞受賞。
平成16年（2004）	加田町の学校全国フォーラム参加。
平成15年（2003）	第一回柳心館カップ開催。日本河川協会全国表彰。新田ホームステイ通学実施。
平成12年（2000）	「心をはぐくむ教育活動推進校」に県指定。
平成7年（1995）	文部省指定「環境教育推進モデル町」の実践協力校。
昭和61年（1986）	開校100周年記念式典開催。PTAが東北PTA連絡協議会より団体表彰。
昭和49年（1974）	開校100周年記念式典開催。屋内体育館落成。
昭和38年（1963）	鉄筋コンクリート校舎第二期工事完了。開校90周年、新校舎落成記念式典開催。校歌制定。プール・給食センター施設完成。給食開始。
昭和37年（1962）	鉄筋コンクリート校舎第一期工事完了。校章制定。
昭和35年（1960）	新田第一小学校として独立。新田第一小学校と併せて新田第一小学校として併設。
昭和33年（1958）	家庭訪問実施。学校給食開始。
昭和22年（1947）	学制改革により新田国民学校と校名変更。下分校となる。新田小学校と併設。新田小学校と併設。新田小学校と併設。
昭和16年（1941）	学制改革により新田国民学校と校名変更。下分校となる。新田小学校と併設。新田小学校と併設。
昭和9年（1920）	新田尋常小学校（下）と新田上尋常小学校（上）を廃止。下分校場と上分校場として新田字山居に新田中尋常高等小学校を新築。学制改革により新田国民学校と校名変更。下分校となる。新田小学校と併設。新田小学校と併設。
明治36年（1903）	新田下尋常小学校と併設。新田下尋常小学校と併設。新田下尋常小学校と併設。
明治20年（1887）	新田下尋常小学校と併設。新田下尋常小学校と併設。新田下尋常小学校と併設。
明治17年（1884）	牛ヶ沢地区に仮庁舎を設け牛ヶ沢小学校と称す。学区更正で本校を新田初等小学校とし牛ヶ沢小学校を支校と称す。
明治6年（1873）	牛ヶ沢地区に仮庁舎を設け牛ヶ沢小学校と称す。学区更正で本校を新田初等小学校とし牛ヶ沢小学校を支校と称す。



新田第一小・新田第二小・嵯峨立小・鱒淵小の校舎にお別れ
 特集 長い歴史と伝統に支えられて

写真は嵯峨立小学校（東和）



懐かしい鼓笛隊パレード

水泳大会

幼児学級（昭和40年）

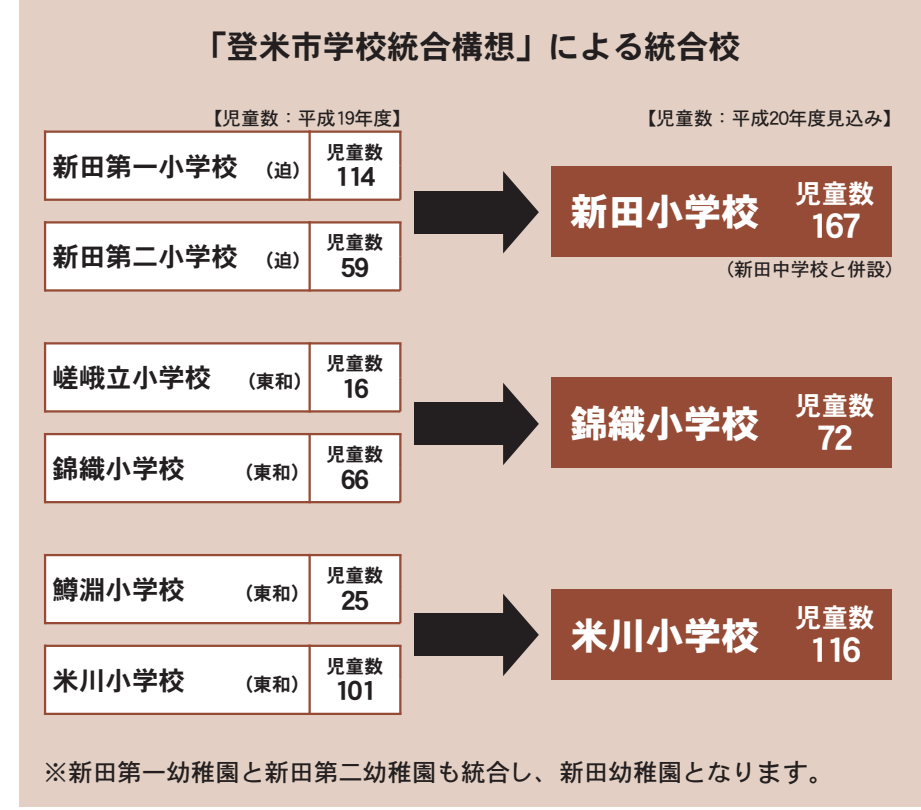
卒業証書

昭魂祭（大正11年）

上分校当時の朝会

年次	主な出来事
平成20年（2008）	開校記念式典開催
平成18年（2006）	西側が使用禁止
平成17年（2005）	第二小学校と改称。耐震度調査を実施し危険校舎と認定。校舎西側が使用禁止。
平成16年（2004）	県学校環境緑化コンクール特選。市町村合併により登米市立新田第一小学校と改称。
平成12年（2000）	県学校環境緑化コンクール特選。市町村合併により登米市立新田第一小学校と改称。
平成11年（1999）	県学校環境緑化コンクール特選。市町村合併により登米市立新田第一小学校と改称。
平成6年（1994）	開校100周年記念式典開催。屋内体育館落成。校歌制定。プール完成。開校90周年記念式典開催。校章制定。
昭和38年（1963）	鉄筋コンクリート校舎第二期工事完了。開校90周年、新校舎落成記念式典開催。校歌制定。プール・給食センター施設完成。給食開始。
昭和37年（1962）	鉄筋コンクリート校舎第一期工事完了。校章制定。
昭和35年（1960）	新田第一小学校として独立。新田第一小学校と併せて新田第一小学校として併設。
昭和33年（1958）	家庭訪問実施。学校給食開始。
昭和22年（1947）	学制改革により新田国民学校と校名変更。下分校となる。新田小学校と併設。新田小学校と併設。
昭和16年（1941）	学制改革により新田国民学校と校名変更。下分校となる。新田小学校と併設。新田小学校と併設。
昭和9年（1920）	新田尋常小学校（下）と新田上尋常小学校（上）を廃止。下分校場と上分校場として新田字山居に新田中尋常高等小学校を新築。学制改革により新田国民学校と校名変更。下分校となる。新田小学校と併設。新田小学校と併設。
明治36年（1903）	新田下尋常小学校と併設。新田下尋常小学校と併設。新田下尋常小学校と併設。
明治20年（1887）	新田下尋常小学校と併設。新田下尋常小学校と併設。新田下尋常小学校と併設。
明治17年（1884）	牛ヶ沢地区に仮庁舎を設け牛ヶ沢小学校と称す。学区更正で本校を新田初等小学校とし牛ヶ沢小学校を支校と称す。
明治6年（1873）	牛ヶ沢地区に仮庁舎を設け牛ヶ沢小学校と称す。学区更正で本校を新田初等小学校とし牛ヶ沢小学校を支校と称す。

新田第二小学校



市では、望ましい学級編成と学校規模の実現により、児童生徒の「確かな学力」「豊かな人間性」「健康や体力」を育もうと、「登米市学校統合構想」を策定し、学校統合を進めていくこととしています。これにより、4月には「新田第一小」と「新田第二小」が統合され「新田小」、「嵯峨立小」と「錦織小」が統合され「錦織小」、「鱒淵小」と「米川小」が統合され「米川小」となります。

今月号では、統合によって3月末で馴れ親しんだ校舎に別れを告げることとなる、「新田第一小」「新田第二小」「嵯峨立小」「鱒淵小」の長い歴史を振り返ります。

■校舎使用停止を乗り越え学校生活を送った児童にたくましさ

新田第一小の50余年の幕が落ろされることになり、多くの人が寂しい思いをされていると思います。しかし、急速に変化する社会で少子化などによる児童数の減少は避けられないのが現実です。

市が行った耐震度検査結果により、校舎の一部と体育館の使用が停止。2年間の新田中、新田公民館、プレハブ校舎での学校生活を余儀なくされました。しかし、子どもたちは戸惑うことなく元気に学校生活を送り、環境の変化に対応する順応性にはたくましさを感じました。きっと、新しい「新田小学校」でも元気に伸び伸びと学校生活を過ごしてくれると思います。

新田第一小は閉校しますが、地域に存在した母校として、これからも『いちい』と、学校から見た『栗駒山と伊豆沼』は、皆さんの忘れられない記憶として残ることでしょう。



よしあき 鈴木 芳明さん
(新田第一小・迫町大形)

■閉校により教職員、地域住民の方々の思いをあらためて実感

多くの卒業生を送り出し、たくさんの方の輝かしい賞を受賞するなど歴史ある素晴らしい学校となった新田第二小。これもひとえに校長・教頭先生はじめ、教職員皆様のご指導、地域の皆様のご支援があったからこそだと思います。

市が行った耐震度検査で、西側校舎に強度不足があることが判明し、平成18年度から1〜4年生がプレハブ校舎での授業となり、子どもたちには不便な思いをさせてしまいました。問題を早期に解決するために統合は苦渋の選択。統合準備をPTA会員は一丸となって取り組みました。

閉校事業を進める中で、わたしたちは学校の歴史を学ぶことができ、教職員や地域住民の方々の学校への思いを感じることができました。4月から新・新田小となりますが、これからも地域の皆さんの温かいご支援をお願いします。



かずひこ 鎌田 和彦さん
(新田第二小・迫町大浦)

■学校統合によって自分たちが住んでいる地域を考える機会に

市の学校統合構想により進められた統合は、嵯峨立地域に住んでいる人にとってあらためて地域を考える良い機会となりました。少子高齢化や財政難などの理由で、学校があつて当たり前だった時代から当たり前でなくなった時代に突入したのです。

子どもたちの成長過程の中で地域や学校、家庭の存在は心身に健全に育っていくために必要不可欠ですが、それが十分に機能しているかどうか疑問に思います。子どもに對するしつけなど親ができることを学校や地域任せにしているのかどうかなど、この統合によって親として自分自身を確認する良いきっかけになったのではないのでしょうか。

地域の成長も一人一人が責任を持って行動し、語り合うことがなければ明るい将来は見えてきません。皆さんで頑張っていきましょう。



よしろう 岩瀬 善郎さん
(嵯峨立小・東和町錦織第5区)

■子どもたちのために今後もPTAの会員同士で連携・協力を

鱒淵小のPTAでは、小さい学校ならではの利点を生かしてきました。天然記念物に指定されている源氏ボタルの里ということもあり、「ホテル愛護少年団」を結成。ホテルを採卵・ふ化させ、子どもたちが毎日観察・飼育して幼虫の放流活動をしました。

また、子どもたちが栽培から収穫まで行い、地域の皆さんと交流する「収穫祭」なども行ってきました。

緑に包まれた学校舎は長い年月の間、子どもたちの成長を見守ってくれて、地域にこの上ない活力を与えてくれました。閉校となるのは寂しいですが、新しい学校でもPTA会員同士で連携・協力し合い、子どもたちのために頑張っていきたいと思っています。

最後に閉校はしますが、一人一人の心の中に「鱒淵小を永遠に」と願います。



まさき 佐藤 正行さん
(鱒淵小・東和町米川第10区)

嵯峨立小学校



木造校舎お別れ会



第1回卒業生（昭和29年度）



北上川での水泳が禁止され米谷小プールでの水泳学習（昭和44年）



6年生から下学年への神楽伝承（昭和63年）



秋季大運動会（昭和49年）

年次	主な出来事
明治6年	普慶院内に創立
明治8年	大清水に校舎新築
明治15年	公立日新小学校と称す
明治16年	中田町立上沼小学校の支校となる
明治17年	嵯峨立初等小学校と称す
明治20年	西郡尋常小学校嵯峨立分校となる
明治21年	新校舎落成・開校式挙げる
明治22年	疎開児童2名入学
昭和25年	錦織小学校嵯峨立分校となる
昭和27年	単式学級となる
昭和29年	モテル分校研究公開
昭和30年	嵯峨立小独立記念式典挙げる
昭和33年	給食室完成・校歌発表会
昭和35年	校旗樹立式挙げる
昭和36年	へき地1級指定
昭和39年	学区内集団赤痢発生
昭和42年	全国へき地教育研究会分科会会場
昭和43年	完全給食開始
昭和45年	プール落成・祝賀会
昭和48年	創立百周年記念事業で標柱を普慶院に建立
昭和58年	文部省指定へき地教育公開研究会
昭和59年	ソニー理科教育論文優良校受賞
昭和62年	東北博覧会へ子ども神楽出演
平成2年	新校舎落成祝賀会、新プール引き渡し
平成5年	生徒指導推進モデル地区として県教育委員会より指定
平成13年	体育館落成
平成15年	NIE研究協力実践校
平成16年	独立開校50周年記念式典
平成17年	市町村合併により登米市立嵯峨立小学校と校名変更
平成18年	青少年読書感想文全国コンクールでサントリー1学校賞
平成20年	閉校記念式典挙げる



鱒淵小学校



馬の足分校校舎



ふくろ川にて



明治期の校舎（明治31年落成）



馬の足分校全校児童



親子旅行



ホテル放流

元校舎の航空写真（昭和31年）

年次	主な出来事
明治6年	西郡、嵯峨立、浪河原、鱒淵の4カ村連合小学校を浪河原村大慈寺に開設
明治7年	上臺、屋敷の両所に小学校を設立
明治8年	上臺小学校を竹峯山華足寺に移転、鱒淵小学校と校名変更
明治9年	屋敷小学校を廃止、鱒淵小学校に合併、鱒淵小学校を改め改明小学校と称す
明治12年	改明小学校を改め鱒淵小学校と称す
明治18年	新築校舎起工
明治22年	浪河原小学校の分教場となる
明治29年	分立して鱒淵尋常小学校となる
明治31年	寺内開校（現在地）に校舎を新築移転
大正7年	鱒淵実業補習学校併置
昭和4年	鱒淵実業補習学校併置
昭和5年	新校舎3教室と便所を増築。手工科施設の認可を受ける
昭和8年	1学級増加し6学級となり単式の学級となる
昭和14年	鱒淵小学校保護者会創立総会、鱒淵少年消防団発足
昭和16年	鱒淵国民学校により鱒淵国民学校と改称
昭和19年	鱒淵国民学校後援婦人会結成
昭和20年	新たに高等科を設置
昭和22年	米川村父母教師の会結成、国民小学校となる。学制改革により小学校と称す
昭和25年	6・3制発足
昭和27年	文部省指定社会学級開講式
昭和28年	米川中学校鱒淵分教室生徒が中学校新校舎に移転
昭和29年	児童図書開館式、開校80周年記念式挙げる
昭和31年	馬の足分校開講式、全校児童に完全給食実施
昭和32年	1学級増加し7学級となる
昭和35年	日高村が誕生。校章制定
昭和39年	米谷町と日高村の合併により東和町となる
昭和43年	校歌制定、校旗・校歌額寄贈
昭和46年	分校開設10周年記念祝賀式挙げる
昭和61年	馬の足分校が本校と統合
平成元年	プール建設落成
平成6年	勤務生産学習研究推進校として文部省より指定、体育館落成
平成15年	ホタル愛護少年団日本善行会より表彰
平成17年	新校舎完成
平成20年	創立130周年記念講話、日本環境学会東北支部より水すまし賞受賞
平成20年	市町村合併により登米市立鱒淵小学校と校名変更
平成20年	閉校記念式典挙げる

ドイツ

【日程】平成19年10月19日(金)～27日(土)の9日間
 【派遣団員数】市内中学生8人
 【訪問都市】ベルリン、キルヒハイムボーランデン、
 フランクフルトほか

目に飛び込んでくる素晴らしい光景に感動

浅野 匡胤さん(南方中2年)

飛行機で12時間、ようやくドイツに着いた。行くところすべてが新鮮で日本では決して見ることができないような光景が次から次へと目に飛び込んできた。石造りの建物、博物館、ブランデンブルグ門など、どれも素晴らしかった。毎日、自然環境や戦争の足跡、古城見学、街並み探索などのテーマに沿った研修が行われ、時間があっという間に過ぎていった。なかでも、ザクセンハウゼン収容所を見学したとき、迫害されて命を失ったユダヤの人たちのことや、戦争による犠牲者がドイツに本当に存在したことなどを思うと、平和であることがいかに大切かを感じなければならなかった。フランクフルトに移動してから、いよいよ4日間のホームステイが始まった。僕がお世話になった家には、3歳上の高校生ニコラスがいた。迎えてくれたときから気さくに話し掛けてくれ、言葉の違いがあっても安心して楽しむことができた。毎日夜遅くまでパーティーをして楽しんだ。日本に帰るとニコラスから「学校を卒業したら日本に行きたい」とメールが届いていた。僕も自分の力でまたドイツに行きたいと思った。ドイツで過ごした9日間は本当に有意義だった。たとえ言葉の壁があってもコミュニケーションが取れるということを感じることができたし、ドイツで友だちになった人たちの優しさを大切にしたいと思った。この研修が家族をはじめ、いろいろな手を借りて成り立っていることに感謝し、自分のこれからの生き方に役立てたいと思う。



- 1 カイザースラウテンサッカースタジアムの記者会見場で記念撮影
- 2 風力発電の工場見学
- 3 サッカースタジアムの観客席にて

登米市青少年海外派遣事業

感動いっぱいの海外体験記

市では、「青少年海外派遣事業」を通して、諸外国の人たちとの相互理解と交流を深め、次代を担う国際感覚豊かな青少年を育成することを目指しています。平成19年度は、カナダ、ドイツ、オーストラリア、アメリカの4カ国へ市内中高生36人を派遣し、現地の学生との交流やホームステイなどさまざまな体験をしてきました。
 ※アメリカについては、3月中旬に派遣します。
 ※20年度の募集については、5月号でお知らせします。
 【問い合わせ】教育委員会生涯学習課 ☎ 0220(34)2698



オペラハウスを背景に(オーストラリア)

オーストラリア

【日程】平成19年11月29日(木)～12月6日(木)の8日間
 【派遣団員数】市内中学生12人
 【訪問都市】メリバラ、ブリスベン、シドニーほか

コアラやカンガルーなどの動物たちとふれあい

山田 結香さん(東和中3年)

オーストラリアでの8日間の研修はとても貴重な体験になりました。ホストファミリーはとても温かく、いつも笑いが絶えませんでした。夜になると、さまざまな動物が家の周りに集まってきて驚きました。集まってくるグライダーやポッサム、鳥などに毎日エサをやっているそうです。毎日英語で会話をしていると、自然に単語が出てきて、たくさん質問ができるようになりました。ホストファミリーは動物園や海、港、ショッピングセンターなどに連れて行ってくれて、いろいろなことをわたしに教えてくれました。また、行く先々で「こんにちは！」と声を掛けてくれる人が多く、みんなおおらかに明るく親切でした。シドニーでは、オーストラリア独自の文化や伝統を知ることができました。ボンダイビーチは想像していたより広く、楽しかったオペラハウスではデザイナー一つ一つに意味があることを学び、自主研修では水族館に行きました。ワイルドライフパークでは、コアラやカンガルーなどを見ました。お金の使い方にも慣れ自分で商品を買うことができるようになり、またいつかオーストラリアに来たいなあと思いました。さまざまな国の人たちとも交流ができた中身の濃い研修になったと思います。この研修で出会った人たちに感謝し、学んだことをこれから生かしていきたいです。



- 1 現地学校で「日本語の授業」に参加
- 2 日豪水泳大会?(プールパーティー)
- 3 「ワイルドライフパーク」でカンガルーと仲良く

カナダ

【日程】平成19年10月16日(火)～24日(水)の9日間
 【派遣団員数】市内中学生9人
 【訪問都市】バンクーバー、バーノンほか

環境保護活動が盛んなカナダに関心

武田 梓沙さん(米山中2年)

この9日間、普通学校では学べないことを学んできました。一番思い出に残ったことは、ホストファミリーと過ごした日々です。会話はもちろん、みんなでパズルをしたり折り紙や将棋を教えてあげたり、とても楽しかったです。カナダで一番驚いたのは、外国では靴のまま家に入るのだと思っていたのですが、靴を脱いだことです。もう一つは雪が降っていたことです。日本では、地球温暖化のためか年々気温が上昇し、雪も少なくなってきています。やはりカナダは、「グリーンピース」の力が効いてきたせいなのかなあと思いました。グリーンピースとは、国際的な環境保護団体で、1971年にカナダで反核運動団体として結成され、環境保護活動などに取り組んでいるそうです。確かにカナダでは、木がたくさんあったし、まちにゴミがあるなんてこともなかったの、すごいなあと思いました。この9日間は、わたしにとって大きく貴重な体験でした。カナダで見たこと、聞いたこと、知ったこと、そして学んだことすべてを、これからたくさん生かしていきたいです。



- 1 バンノン市街を背景に記念撮影
- 2 オカナガン大学で英語の授業を体験しました
- 3 日本語の授業では楽しくコミュニケーション

防災

気になる宮城県沖地震、登米市はどうなるの…。

昭和53年6月12日、牡鹿半島沖を震源として発生した『宮城県沖地震』から間もなく30年になろうとしています。この期間が過去の地震発生間隔から予想すると、近い将来宮城県沖地震の発生する確率を高くさせている根拠（周期説）となっています。

県では、平成16年度に「宮城県沖を震源とする地震が発生した場合には」の第三次地震被害想定調査（詳細・宮城県危機対策課ホームページ）を行いました。この調査によると、登米市における地震被害の発生状況は以下のとおり想定されています。

□登米市の地質はやわらかい

登米市は北上川と迫川が並行して流れ、大きくは奥羽山脈と北上山地に挟まれた低地平野です。地質は川や海から運ばれた腐植土、泥土が堆積した沖積層で形成され、水分を多く含む軟弱地盤のため、液状化現象が起こりやすく地震に弱い地質です。従って、当市においては液状化危険度も高く、震度6弱以上と強くなっているのです。

□地震の発生確率は？（2007年1月1日から）

今後10年以内の発生確率	60%
今後20年以内の発生確率	90%
今後30年以内の発生確率	99%

□過去に発生した地震の活動間隔は？（29.5年経過）

最短間隔	平均間隔	最長間隔
26.3年	37.1年	42.4年

□建物・火災・人的被害予想は？（昼12時ごろと想定）

		建築物（棟）		火災（件）		人的（件）		
		全壊数	半壊数	延焼出火点	焼失棟数	死者数	負傷者数	避難者数
単独型	登米市	548	4,172	8	66	8	377	7,231
	宮城県	5,496	38,701	122	2,482	96	4,014	90,335
連動型	登米市	337	3,158	6	23	3	236	5,054
	宮城県	7,595	50,896	158	2,874	164	6,170	122,174

※単独型：震源域が1カ所で起こる地震。連動型：震源域が2カ所以上で連動して起こる地震。

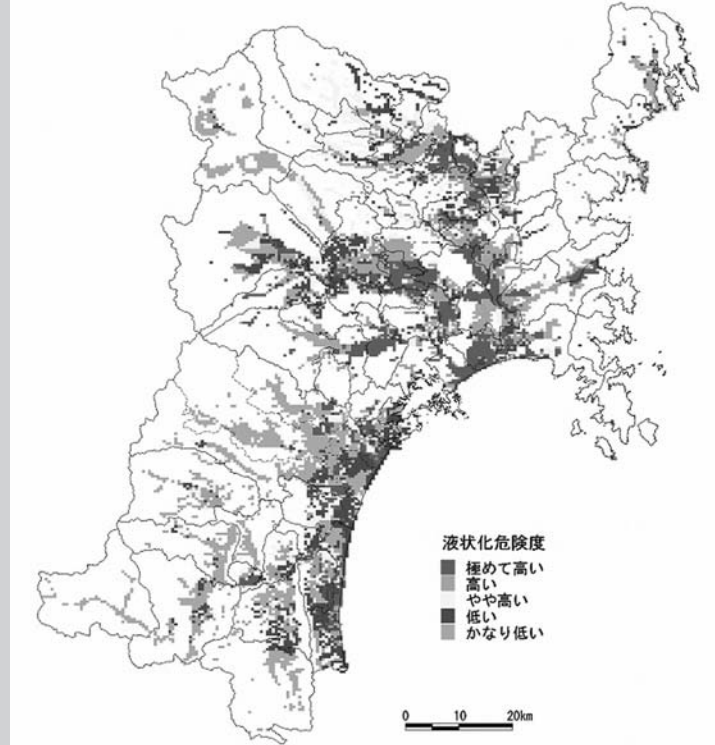
□災害に強い人づくり、地域づくりが「減災」の条件

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、6,400人を超える人たちが犠牲となりました。市役所・消防署などの被災や、道路損壊などにより初期の救助活動、消火活動などが円滑に進みませんでした。この状況下で、被害の拡大防止に活躍したのが地域住民の活動でした。救助を必要とした人は約35,000人で、そのほぼ8割の人が隣近所の人たちによって救出されました。

さらに、阪神・淡路大震災では、死亡者の60%が地震発生から15分間で亡くなっています。このことから、いかに初期活動が大切なのかが分かります。減災は「自分たちの町（地域）は自分たちが守る」ことを理念とし、自主防災組織、消防団、婦人防火クラブなどが連携・協力し、地域防災力を強化していくことが「わが身、わが家族、わが地域」を守ることになるのです。

【問い合わせ】総務部防災課 ☎ 0220 (22) 2130

【液状化危険度判定結果〔宮城県沖地震（単独）〕】第三次地震被害想定調査より



完成した登米市消防防災センター

登米市民の防災拠点として整備を進めてきた「登米市消防防災センター」が完成しました。完成に伴い、「登米市消防本部」「登米市消防署」が移転し、平成20年3月17日から新庁舎で業務を開始します。新庁舎は消防機関のほか、地震・避難・通報体験など防災啓蒙機能を備えた防災拠点となっています。また、多岐災害に対応できる訓練施設やコンピューターによる災害現場の特定、出場指令の時間短縮など、市民の安全・安心を守るための施設となっています。

消防防災センター完成に伴う消防本部・消防署からのお知らせ

◎市民皆さんを対象とした新庁舎見学会を実施します。

【日時】平成20年3月22日（土）・23日（日）

午前の部 1回目 10:00～
2回目 11:00～
午後の部 1回目 13:00～
2回目 14:00～

※事前の申し込みは不要です。

◎庁舎移転に伴い、住所などが変更となります。

【新住所】〒987-0512

登米市迫町森字平柳25番地

【電話番号】

《3月17日から》

☎代表 ☎ 0220(22)0119

☎災害時間問い合わせ ☎ 0180(992)099

※現在の災害時間問い合わせに電話をすると、上記の番号へ案内する音声がかかります。

☎登米市消防本部

消防総務課 ☎ 0220(22)3119 予 防 課 ☎ 0220(22)1900

警 防 課 ☎ 0220(22)1901

☎登米市消防署 ☎ 0220(22)2119

※各出張所の所在地・連絡先については、これまでと同じです。

◎問い合わせ

消防本部消防総務課 ☎ 0220(22)0119



消防本部・消防署が移転し、平成20年3月17日から業務を開始します

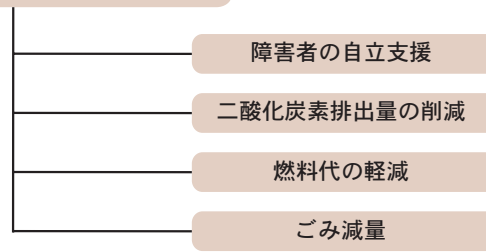
登米市 消防防災センターが完成

廃食油

今年度から市内全域での取り組みとなった「廃食油回収、バイオ・ディーゼル燃料（BDF）推進事業」は、市民皆さんの協力と公衆衛生組合連合会、はんとく苑、大型店舗、道の駅などとの協働事業として実施しています。その取組状況をお知らせします。



廃食油回収・BDF燃料車両10台走行



■家庭用廃食油の回収量（単位：kg）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
公民館 など	西地区	50	—	—	156	—	—	184	—	—	273	663
	東地区	—	28	—	—	162	—	—	108	—	—	298
	南地区	—	—	147	—	—	—	192	—	327	—	666
道の駅など	170	130	74	117	258	356	216	109	225	158	1,813	
大型店舗	68	103	115	82	58	128	78	86	166	80	964	
計	288	261	336	355	478	676	478	303	718	511	4,404	

【公民館など】〔西地区〕迫、南方〔東地区〕東和、中田、石越〔南地区〕登米、豊里、米山、津山
 【道の駅など】9地区物産館、はんとく給油所【大型店舗】ウジエスーパー各店、ロックシティ佐沼店

■事業用廃食油の回収量（単位：kg）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
公共施設	1,512	1,632	872	1,624	700	824	1,070	1,182	1,238	432	11,086
民間事業所	1,886	3,979	4,052	3,613	4,563	3,718	3,819	2,984	3,756	4,626	36,996

■BDF使用量（単位：kg）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
公用車・事業所・ はんとく苑	2,031	3,894	5,067	4,959	7,716	6,049	6,197	5,281	2,791	2,315	46,300

■協働効果

地区公衆衛生組合がチラシ配布や回収の立ち会いなどをボランティアで行っているほか、道の駅、大型店舗などの厚意で、毎月1回の店頭回収に協力をいただいています。BDFを使用する市民バスなどには、佐沼高美術部の生徒がデザインした看板を貼っています。また、上沼高文化祭では生徒が自主的に廃食油の回収を行ったり、南方中では生徒が障害者と一緒に行き、BDF製造を体験したりして、多くの市民の理解と協力のもとで実施しています。

■経済効果

市は燃料代が軽減され（軽油とBDFの差額）、市民も油を捨てるのに凝固剤を買わずに済むなど、市・市民・はんとく苑が共に有益となっている事業です。

■温暖化防止効果

現状で推移すると、来年度に製造されるBDFは約50,000kgになると見込まれます。BDFと軽油は燃費がほぼ同じで、BDFへの切り替えによって軽油の量を年間50,000kg減らせることになり、削減される二酸化炭素は年間約131トンとなります。年間131トンの二酸化炭素を吸収させるためには約20%の森林が必要ですので、地球温暖化対策という意味では20%の植林と同じ効果があるといえます。



◎リサイクルステーションに出された資源ごみの持ち去りはできません

スチール・アルミ缶、新聞、雑誌、段ボールなどリサイクルステーションに出されたものを、市が委託した収集業者が回収する前にトラックなどで持ち去る行為が確認されています。人目効果があると思いますので、資源ごみを出す場合は、収集日の朝7時～8時の時間帯に出すようにしてください。また、集団回収をしている人も、リサイクルステーションから資源を持っていくことはできませんので、リサイクルステーションとは別の場所で見積りなどの工夫をお願いします。

◎集積所ごみ・リサイクルステーションの資源ごみを火災から守ろう

ごみ集積所に出されたごみや、リサイクルステーションに出された資源ごみへの放火（疑い含む）が起きています。その内容を見ると、収集日の前日に出したものに何かが深夜に放火（疑い含む）しているようです。貴重な資源ごみを火災から守るためにも、ごみ・資源ごみを出す場合は、収集日の朝7時～8時の時間帯に出すようにしてください。

【問い合わせ】 環境事業所環境管理課 ☎ 0220(58)2064

消防団員募集 ～あなたも入団しませんか？入団をお待ちしています！

消防団とは

- ①消防団員は、特別職の地方公務員です。
- ②火災や大規模な災害が発生したときに、住民皆さんに最も身近で地域に密着した消防機関として、火災防御活動などに従事します。
- ③地域においては、自主防災組織や住民皆さんの防火・防災における良きリーダー的な立場にあります。

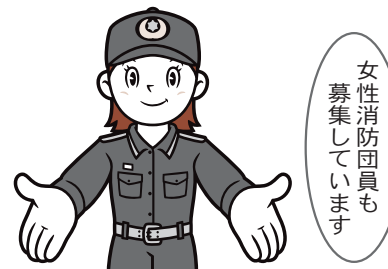
消防団に入団するには

- ①市内に居住または勤務していること。
- ②年齢が18歳以上であること。
- ③志操堅固で身体強健であること。

消防団の処遇は

- ①手当の支給：災害や訓練などに出勤し活動した場合は、これらに要した実費として出動手当などが支給されます。
- ②公務災害補償制度：消防団活動により死亡したり、病気または負傷したりした場合は、本人や遺族に対しての補償があります。
- ③表彰制度：団員の士気の高揚とその労苦に報いるため、表彰制度が設けられています。
- ④制服などを貸与します。

【問い合わせ】 消防本部警防課 消防団係 ☎ 0220(22)6390



募集

ご迷惑をお掛け しました

2月12日に発生しました水道事故では、市民皆様には多大なるご迷惑、ご不便をお掛けいたしましたことに対しまして、深くお詫び申し上げます。

今回の事故は、保呂羽浄水場1号沈殿池の清掃を行う事前作業中、沈殿池に堆積している泥の混じった水を、ろ過池に流入させてしまったことが原因であります。

市民皆様からの問い合わせや苦情件数は、1,200件以上もあり、あらためて事故の重大さを痛感いたしております。特に市民皆様への情報伝達が不十分だったことや、対応する職員の意思統一、情報の共有がなされていなかったことが、市民皆様に不安を与えてしまった大きな要因であります。

今回の事故に起因した被害につきましては、基本的に補償対応をさせていただくことにしており、その内容につきましてもできるだけ早くお知らせしたいと考えております。

また、水道料金・下水道料金に関しましては、保呂羽浄水場から給水している区域の皆様を対象に、平成20年2月と3月分の一部を減額したいと考えております。

今後は、早急に水道事業における危機管理体制を確立するとともに、すべての作業に事故を未然に防ぐための対策を講じてまいります。

登米市長 布施 孝尚

水道事故の経過と対応

月日	時刻	経過・対応
2/12	22:00	保呂羽浄水場の監視システムに、ろ過池出口の濁度上昇などを示す警報が鳴り、当直者が浄水場の職員へ連絡。
	22:40	現場に駆け付けた職員がろ過作業の停止と水中ポンプでの水の汲み出しを停止して、ろ過池の洗浄作業を開始。この作業により、ろ過池濁度の上昇を回避しようとしたが濁度はさらに上昇。
2/13	1:15	配水濁度13.9度、配水色度33.6度と最高値を記録
	1:35	水道技術管理者が浄水課職員と対策を協議した結果、引き続きろ過池の洗浄作業と主要配水管の泥吐き作業により、事態を抑えられると判断。作業継続。
	2:00	濁度異常に対処するため、主要配水管の泥吐き作業を実施。しかし、予想したような数値の回復が得られず。
	5:50	水道事業災害対策本部設置
	8:00	洗管作業箇所を1カ所追加
	9:30	水道事業所長と水道技術管理者らから市長へ事態の説明があり、市長が直ちに給水停止の措置を講ずるよう指示。その後、全面的な給水停止を行うと配水管に空気が入り、復旧に長期間を要することから、仕切弁の開度を制限する給水制限に切り換え、水を飲まないように市民への周知を指示。
	10:00	防災無線で第1報放送
	10:15	防災無線で第2報放送
	10:40	防災無線で第3報放送
	10:50	洗管作業の箇所を増やし洗管開始
12:30	登米市災害対策本部設置。水道事業所の給水車で給水活動を続けながら、市内28カ所に給水所を設け、給水車で給水作業に入る。	
19:30	水質汚濁の復旧状況を調査するため、5回にわたり市内各所の給水栓から採水し、濁度・色度・残留塩素を測定。36カ所中10カ所で基準値不適合の値が測定される。	
20:00	クリプトスポリジウムなどの検査をするため、市内2カ所から採取した水を栗原市水質検査センターに依頼。	
22:00	市内39カ所の給水栓から採水し、濁度・色度・残留塩素を測定。39カ所中17カ所で基準値不適合の値が測定される。	
2/14	3:00	市内25カ所の給水栓から採水し、濁度・色度・残留塩素・PH・味・臭気を測定。25カ所中4カ所で基準値不適合の値が測定される。
	5:00	使用制限に係る市民の不安や不便をいくらかでも緩和すべきという判断をし、水質基準適合の値を示した地区から逐次使用制限の解除措置。
	6:00	煮沸して飲用することを条件に、迫町の一部、米山町の一部、豊里町全域、南方町の一部を除く町域の使用制限を解除。防災無線で広報。
	6:25	迫町の一部、豊里町全域を除く町域の使用制限を解除。防災無線で広報。
	7:55	豊里町全域を除く町域の使用制限を解除。防災無線で広報。
	10:00	栗原市水質検査センターから、クリプトスポリジウムなどの検査結果が「陰性」との報告を受ける。豊里町全域を除き使用制限解除。防災無線で広報。
	13:00	豊里町全域の使用制限を解除。防災無線で広報。



県内外の自治体から応援に駆け付けた65台の給水車が、市内28カ所で給水作業に当たりました

水道料金・下水道料金の減額について

①水道料金（登米町の保呂羽浄水場水系利用者）

- ▶ 2月分は基本料金の全額と使用水量の15%相当額の合算額を減額
- ▶ 3月分は使用水量の15%相当額を減額

②下水道使用料（上記のうち、市が管理している下水処理施設利用者）

- ▶ 2月および3月分の使用水量の15%相当額を減額

事故に関する相談・問い合わせについて

①相談窓口の設置

土・日・休日を含め、午前8時30分から午後9時まで実施しています。なお、防災課にも窓口を設けました。

- ▶ 水道事業所 ☎ 0220 (52) 3314
- ▶ 総務部防災課 ☎ 0220 (22) 2111

②損害補償に関するもの

基本的に補償対応します。実施要綱などが決まりましたら別途お知らせします。

全国広報コンクール県選考

「広報紙」「ホームページ」が3年連続、写真「組み」は初の県代表に

社団法人日本広報協会が主催する平成20年全国広報コンクールへ、広報紙（市部）の部で「広報とめ19年12月号」、ホームページの部で「19年9月号」が共に3年連続、写真の部（組み写真）で「19年9月号」が初の県代表として推薦されることが決まりました。



④全国広報コンクール県選考で、全国へ推薦される「広報とめ19年12月号」と「同19年9月号」
⑤同じく全国へ推薦される市ホームページのトップページ

媒体を対象に実施されます。推薦される「広報とめ19年12月号」は、A4判40ページの特集『未来への切符』では、市民の関心度が高い「市立病院再編問題」「産婦人科・小児科の医療環境」など、市民の声を取り入れながら分かりやすく紹介しました。

また、ホームページは、ほかの市町村にはあまり例のない、市民が書き込める市のスケジュール（携帯電話対応）や防災・不審者情報メール通知サービス、手話の動画紹介など、市民向けのさまざまな情報を掲載しています。

広報紙は、市民皆さんからの情報があつて作ることができ、皆さんには、快く取材に応じていただいたこと、情報を寄せていただいたことなどのご協力に感謝します。今後も皆さんから親しまれる広報紙やホームページの作成に努めていきます。

あなたの声を市政・事業に反映させませんか 市政・水道モニター募集

市では市政と水道事業に関する市民皆さんの意見や要望を反映させ、住みよいまちづくりやサービスの向上を目指すために、市政モニターと水道モニターを募集します。

応募の要件は次のとおりです。

市政モニター	水道モニター
<p>【資格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①20歳以上で市内に1年以上住んでいる人 ②地方公共団体の職員でない人 ③モニターの職務を積極的に履行できる人 <p>【定数】 20人以内</p> <p>【任期】 1年間</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市政に関する建設的な意見や要望などを随時提出していただきます。 ②モニター会議（年2回）に出席していただきます。 ③市政に関する調査表などに回答していただきます。 ④市長から要請がある会議に出席していただきます。 <p>【応募方法】</p> <p>①住所②氏名③生年月日（年齢）④電話番号を任意の様式に記入し、市役所総務部市長公室広報広聴係へ提出するか、電話、郵送のいずれかで申し込みしてください。</p> <p>【応募締切】 3月31日（月）まで</p> <p>【申し込み・問い合わせ】</p> <p>総務部市長公室 広報広聴係 〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1 ☎ 0220 (22) 2090</p>	<p>【資格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①20歳以上で市内に住んでいる人 ②水道を使用している人 <p>【定数】 20人</p> <p>【任期】 1年間</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①水道に関するアンケート調査用紙の配布、回収をしていただきます。 ②モニター会議に出席していただきます。 ③水道事業に関する意見や感想などを随時提出いただきます。 ④路上漏水などを発見した際は、随時水道事業所に報告していただきます。 <p>【応募方法】</p> <p>①住所②氏名③生年月日（年齢）④電話番号を任意の様式に記入し、水道事業所水道管理課へ提出するか、電話、郵送のいずれかで申し込みしてください。</p> <p>【応募締切】 3月31日（月）まで</p> <p>【申し込み・問い合わせ】</p> <p>水道事業所水道管理課 経営管理係 〒987-0702 登米市登米町寺池目子待井381番地1 ☎ 0220 (52) 3313</p>

貴重な文化財を守るために

文化財防火デー防災訓練

昭和24年、法隆寺金堂壁画(国宝)焼失を教訓に定められた文化財防火デー(1月26日)にちなみ、1月27日、南方町の市指定重要文化財「大嶽山興福寺」で防災訓練が実施されました。



本番さながらに建物へ一斉放水しました

訓練には地区住民、消防団、婦人防火クラブ、施設関係者ら約160人が参加。本堂西側にある大嶽山交流広場付近の山林から火災が発生し、延焼する恐れがあると想定して進められました。

訓練は火災発生時の通報や、駆け付けた住民による建物内からの重要物搬出、消火器の取り扱い指導などを実施。農業用散水機械器具を使った消火、建物への一斉放水なども本番さながらに行われました。訓練終了後には、会場を南方老人福祉センターに移し、住職の嶽内真弘さんによる文化財講座、市消防署西出張所の戸田所長による防災講座も開かれ、参加者は貴重な文化財への理解を深めました。



地区住民による重要物搬出訓練

偉大な漫画家の生誕を祝う

石ノ森章太郎メモリアルデーイベント

「石ノ森章太郎メモリアルデーイベント(同ふるさと記念館友の会主催)」が1月27日、同館で開催されました。この催しは、石ノ森さんの誕生日が1月25日であることから、毎年1月下旬の日曜日を生誕記念日に定め、同氏の偉業を後世に伝えていくことを目的に開催し、今年で7回目となります。



親子で協力してオリジナルのたこを完成させました

親子たこ作りには、市内の親子連れ約50人が参加。石ノ森塾生とジュニア・リーダーの指導で、アニメキャラクターなどのイラストを描いた和紙と竹ひごを使って完成させ、近くの水田でたこ揚げをしました。



協力しながら漫画を描く参加者

また、「ウルトラマンダイナ」「仮面ライダーブラックRX」などに出演していた石ノ森さんの長男、小野寺丈さんを招きトークショーも開催。父親「章太郎」の思い出や親子ならではの秘話を語り、生誕を祝いました。



小野寺丈さんが父親「章太郎」を語ったトークショー

親しまれた軽便を懐かしむ

市民劇場「夢フェスタ水の里」

10回目となる市民劇場「夢フェスタ水の里」(財団法人登米文化振興財団主催)が2月16、17の両日、登米祝祭劇場で開催されました。

今回のテーマは、大正から昭和中期にかけて登米(南方・迫・中田・東和・登米)と栗原(瀬峰)の間を走り、「軽便こ」の愛称で親しまれていた「仙北鉄道」。「『軽便こ』は時空を超えて、仙北鉄道物語」をタイトルに、廃線当時

の暮らしの様子や心情などを市内外の出演者約30人が演じました。平成10年度から始まった「夢フェスタ水の里」は、旧9町に伝わる民話などを題材に公演を行い、昨年度で一巡しました。しかし、9年続いた夢フェスタを終わらせてはならないと、これまでの演出者や出演者らが中心となり「夢フェスタをつくる会」を結び、公演に向けた準備を連日

の暮らしの様子や心情などを市内外の出演者約30人が演じました。平成10年度から始まった「夢フェスタ水の里」は、旧9町に伝わる民話などを題材に公演を行い、昨年度で一巡しました。しかし、9年続いた夢フェスタを終わらせてはならないと、これまでの演出者や出演者らが中心となり「夢フェスタをつくる会」を結び、公演に向けた準備を連日



場内では地場産品の販売や仙北鉄道展を同時開催



約150人のボランティアの力で進められた市民劇場



劇は現代の人間が昭和42年の登米駅にタイムスリップ

連夜、熱心に進めてきました。夜公演の初日は965人、最終日の昼公演には1,095人と立ち見が出るほどの大盛況で、熱のこもった演技に会場はわれんばかりの拍手や歓声が鳴り響きました。鑑賞した市内の男性は「昔懐かしい仙北鉄道を題材とした創作劇は、とても素晴らしいと思った。自分の若いときを思い出した。込み上げるものがあった」と話していました。



代表者の要望や質問に一つ一つ丁寧に答える県知事

県知事と活発な意見を交換

認定農業者連絡協議会 新春意見交換会

認定農業者連絡協議会(高橋幸三会長・迫町)と村井嘉浩県知事との新春意見交換会が1月31日、ホテルサンシャイン佐沼で開催されました。市内の認定農業者や県、市の関係者ら約110人が参加



「元気のでる宮城の農業」をテーマに意見交換

「元気のでる宮城の農業」をテーマに、認定農業者の代表3人が米の生産調整算定方法の見直しや飼料代の支援、バイオエタノールのプラント整備などを村井県知事に要望しました。

水稲と露地野菜を栽培している加美山竜太さん(豊里町)は、「宮崎県のように広報活動を強化して、県内農産物を全国に広めてほしい」と要望。村井県知事は「わたしも県内の農産物が全国でもたくさん売れるように、メディアを通じて宣伝しています。今年は仙台・宮城デステイネーションキャンペーンもあるので、県民全員で『食料王国みやぎ』を宣伝していきましょう」と話しました。



▲ギターやピアノの生演奏を聴きながら15年を振り返りました

迫・ひまわりハウス15周年を祝う会 作業所開設15年を振り返る

迫社会復帰共同作業所「ひまわりハウス」の開設15周年を祝う会が2月15日に開催されました。ひまわりハウスは、精神障害者の社会復帰を目指し、平成4年から迫町と家族会が運営主体となって活動を開始。手芸作品を中心に制作し、併設するショップで販売や喫茶での接客訓練を行っています。会には作業の指導者やお世話になっている人たちを招待。ギターやピアノの生演奏を聴いた後、会食をしました。出席者からは15年間の活動を振り返った温かいメッセージもあり、思い出に残る一日となりました。

東和で「米川の水かぶり」 上がる水しぶきに歓声

国重要無形民俗文化財指定の「米川の水かぶり」が、初午の日に当たる2月12日に行われました。この祭りは米川五日町地区に伝わる火伏せ行事で、地区内に住む男たちがワラ装束に身を包んで神様の使いとなり、家々の前に用意された水を家に掛けながら練り歩くものです。また、男たちの身に付けているワラを抜き取り屋根に上げると、火伏せのお守りになるとも伝えられています。今年は小学生や高校生を含めた28人の男性が参加。上がる水しぶきに、沿道の多くの観光客は歓声を上げていました。



▲水しぶきを浴びながら火伏せのお守りのわらを抜き取る子どもたち

豊里で「未来に夢を語る会」 一人前の大人として自覚を

「未来に夢を語る会」が2月6日、豊里小・中学校で行われ、8年生（中2）とその保護者、7年生の約150人が出席しました。15歳は昔の元服に当たり、一人前の大人として、また最上学年になるための自覚をもってもらい、両親や家族へ感謝の気持ちを伝える目的で8年生を対象に開催。豊里町出身で生徒たちの先輩、東北放送アナウンサー守屋周さんを講師に招き講演が行われました。また、8年生を代表して及川和貴さんと佐々木友里さんが未来の夢を発表。両親へ感謝の手紙贈呈なども行われました。



▲15歳になるに当たり両親や家族へ感謝の気持ちを伝える生徒たち



▲会員それぞれが創意工夫した作品の作り方などを学ぶ参加者

中田で農産加工作品展示会 創意工夫された作品がズラリ

中田町農産加工作品展示会が2月1日、中田農村環境改善センターで開催されました。この展示会は、地域内農産物を有効利用し、加工技術の向上や安全な農産加工品の普及を目的に毎年開催されています。今回は農産加工クラブ連絡協議会の会員97人から193作品が出品され、「漬物」「梅干し」「みそ」「ジャム」「アイディア」の5部門で審査が行われました。出品された作品は、どれも創意工夫された素晴らしい出来栄。受賞者は「これからも安全でおいしい加工品づくりを進めていきたい」と話していました。

米山で救急救命講習会 応急手当を学んで備え万全

よねやま保育園に通う園児の保護者を対象とした、救急救命講習会（同園保護者会主催）が2月2日、同園で開催され、保護者や職員ら約70人が参加しました。今回の講習会は保護者の要望により開催。市消防本部の救急救命士による、応急手当の重要性についての講話がありました。続いて、参加者はグループに分かれて、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の操作方法などを学んだ後、実際にAEDを使って応急手当を体験。いざというときの対処方法を学びました。



▲心肺蘇生法やAEDの操作方法を学ぶ園児の保護者

石越で「健康アップ・笑顔アップ教室」 軽スポーツで健康アップ!

体のバランスを整えながら健康な生活を送るため、家庭で気軽に取り組める運動や体操を紹介する「健康アップ・笑顔アップ教室」が石越公民館で開催されています。これまで、転倒防止教室や有酸素運動、ニュースポーツなど5種類の教室を開催。2月16日には「いきいきいしこしセミナー」が開かれ、地区住民48人が参加しました。講師に東北生活文化大学の土井豊教授を招き、「転ばぬ先の杖（健康・体力・骨）づくり」と題して、骨密度測定と足裏診断などを実施。参加者は自分の体の健康状態を学びました。



▲骨密度測定と足裏診断などで自分の測定年齢を知りびっくり

トピックス **プラス**

1/5～1/6

DCに向けて特産品や観光名所をPR

東京都豊島区にある宮城県のアンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」で、1月5、6の両日、登米市の特産品の試食販売が行われました。市産のもち米、枝豆を使った「ずんだもち」を1日250食の限定で来場者に無料提供。地酒「澤乃泉」の鏡開き・試飲もありました。また、会場には観光コーナーも設置され、大変にぎわった2日間となりました。



▲正月らしくきねと臼を使ってもちつきをしました

1/30

市の取り組みは早めに分かりやすく

市民の声を市政に取り入れ、市民との協働によるまちづくりを目指し設置された市政モニター。その第2回会議が1月30日、市役所迫庁舎で開催され、委員11人が出席しました。今回は広報紙とホームページ、市民協働の2つをテーマに意見交換。市の取り組みを早めに分かりやすく広報紙で伝えてほしいなど、活発に意見が交わされました。



▲活発に意見が交わされた市政モニター会議

2/5

農産物の安全確保に向けたGAP導入

登米地域園芸振興研修会が2月5日、ホテルニューグランヴィアで行われ、市内の園芸農家や県、市、JAの関係者ら約120人が参加しました。宮城大学の池戸重信教授が「消費者が求める日本農産物への信頼」と題して基調講演。宮城県におけるGAP（適正農業規範消費者）の取り組みや、消費者の国産品選択基準などを話しました。



▲園芸農家にGAP普及の重要性を話す池戸教授

2/8

市内の自然を守る環境教育リーダーを

平成19年度第2回市環境教育指導者研修会が2月8日、迫公民館で開催され、一般住民や教職員、行政職員ら約120人が参加しました。講師は東北放送の気象予報士、斎藤恭紀さんと宮城教育大学の溝田浩二助教。斎藤さんは、地球温暖化についてユーモアを交えながら講話し、溝田さんは自然学習体験を通じた子どもとの遊び方などを話しました。



▲環境教育リーダーの育成を目指して行われた研修会

妊婦の大変さを自ら体験

南方で子育て理解講座

未来の親候補である中学生に正しい知識を持ってもらおうと、「明日の親となる中学生の子育て理解講座（南方中・教育委員会南方事務所主催）」が2月20日、南方武道伝承館で行われました。講座には南方中3年生93人が参加。保健師や子育て施設のスタッフらによる、「性と生について」と題した講話や、妊婦体験スーツを着用しての妊婦疑似体験が行われました。また、生徒らは子育て中の母親5人の協力により、乳児の抱きかかえも体験。泣き止まない乳児に悪戦苦闘しながら、恐る恐る抱く姿が見られました。



▲妊婦体験スーツを着用して乳児人形をだっこする生徒



▲一つでも多くの福にあやかろうと豆袋を拾う参加者

豆を拾い一年の福を呼び込む

横山不動尊で節分豆まき大会

福の神を呼ぶ節分豆まき大会（横山6区・7区集会所運営委員会主催）が2月3日、横山不動尊で開催され、地域住民約200人が参加しました。運営委員ら関係者が本堂で祈禱を行った後、「かみしも姿」で境内に並び、太鼓の音に合わせて「福は内、鬼は外」の元気な掛け声で落花生の入った袋を勢いよくまきました。訪れた人たちは、一つでも多くの福にあやかろうと、歓声を上げながら豆袋を拾っていました。また、豆袋の中には当たりの福豆も混ぜてまかれ、拾った人にはおもちゃなどが贈られました。

寒さに負けずハッスルプレー

登米で9人制バレーボール大会

地域のバレーボール技術の向上と普及、愛好者の親睦を目的に、「登米町9人制総合バレーボール選手権大会（同町バレーボール協会主催）」が2月24日、登米総合体育館で開催されました。今回で32回目となる大会には、町内の6チーム、70人を超える選手や関係者が参加。各チームの応援団も大勢訪れました。全員がバレーボール経験者のチームもあれば、ほとんどが初心者チームもあり、白熱したゲームを展開。どのチームも寒さを吹き飛ばすように、互いに声を掛け合いながら心地よい汗を流しました。



▲6チームが寒さに負けず心地よい汗を流したバレーボール大会



市民の広場

ぼくらの夢 No.35

家族や大切な人たちを幸せに

「病气やけがで入院している人が一日でも早く退院できるように、医療関係の仕事に就きたい」と話す絵美さん。医療関係の中でも、薬剤師の仕事に興味があるそうです。昨年、絵美さんのお母さんが病气のため長期入院。病院へ行くたびに、医師や看護師、薬剤師などの医療に携わる人たちの仕事を見て、人の命を

預かる仕事の重要さや大切さを知りました。また、お母さんが入院中は、家の掃除や家族の食事を作るなどの家事を手伝ったときにお母さんの存在の大きさをあらためて実感したそうです。「家族や大切な人たちが、笑顔で幸せに暮らせることが一番」とやさしく話してくれました。



福泉 絵美さん (米山中3年)
(米山町追土・勝司さん方)

文芸

●4月号は短歌です。住所、氏名、電話番号を記入し、3月10日までご応募ください。●応募者多数の場合は抽選で掲載します。

俳句

輝ける美しき地球の年明くる
返り花高くなりたる川の土手
節分や今年も消せぬわれの鬼
寒暁や白く浮き出し南部富士
南天の固き小粒に意地を見き
軽便の駅こわされて冬日向
譲り合ふ鯛焼きひとつ嫁姑
鯛焼きや母のぬくもり塾帰り
祖母手解く自炊料理や春浅き
老いてなお筆に深みや花便り
霜深し朝日最初の丘の家
大樹の梢何か揺らしぬ日脚伸ぶ
ありし日の父に託して祈る日々

佐藤 喜美子 (津山)
小野寺 礼喜子 (中田)
菊地 典子 (中田)
山内 雅子 (中田)
黒田 律子 (中田)
五十嵐 進太夫 (中田)
大泉 けい子 (中田)
小野寺 智子 (迫)
佐々木 振作 (南方)
高橋 良 (登米)
小野寺 和彦 (東和)
小平 華子 (東和)
畠山 保治 (東和)

春を待つランドセルにも足がつく
柳 渕 やす子 (米山)

三陸道早期完成のため休日を返上 猛勉強で夢の資格取得を目指す

まちの若い衆 No.35



佐藤 浩太さん (23歳)

さとう こうた
豊里町下町・おひつじ座

★身長と血液型 178センチでB型です。
★現在は 石巻市桃生町の土木建設会社に勤務して、現場監督をしています。今の時期は三陸縦貫自動車道や、ほ場整備事業などの工事でもとても忙しく、休日を返上して働いています。現場は外なので寒くてつらいですが、工事が完了した喜びを頭に描きながら頑張っています。
★自分の性格 明るい性格。年齢差に関係なく、誰とも話すことができます。
★休日 は 車が好きなので、愛車の整備をしたり洗車をしたりしています。ピカピカの車でドライブに出掛けると、最高の気分になります。
★趣味は 釣り。時間があれば友人と海に行つて、カレイなどを狙っています。
★理想の女性像 やさしくて明るい人。
★今やってみたいこと 土木施工管理技師2級の資格を持つていますが、1級を目指しているのので、猛勉強して夢を実現したい。

新刊紹介 =迫図書館= ☎0220 (22) 9820

■大人向け

女性の品格
板東眞理子／著
現代女性の振舞い方について、具体的にアドバイスしています。

異邦人 上・下
パトリシア・コーンウェル／著
「検屍官」シリーズの新刊。今回はテニスプレイヤーの死の謎に迫ります。

人気のふるさと野菜
主婦の友社／出版
日本各地の野菜を紹介。家庭菜園での楽しみ方も掲載です。

■子ども向け

マリと子犬の物語
ひろはたえりこ／著
マリと子犬はどうなったのか。新潟県中越地震を舞台にした感動作。

きかんしゃトーマス 大図鑑
ポプラ社／出版
トーマスが好きな子必見。71のキャラクターのすべてが分かります。

ときそば 落語絵本
川端誠／著
そばをたいたらげた男が小銭を出して勘定した。さて、その後は……。

※たくさん新刊が入りました。詳しくは市ホームページをご覧ください。



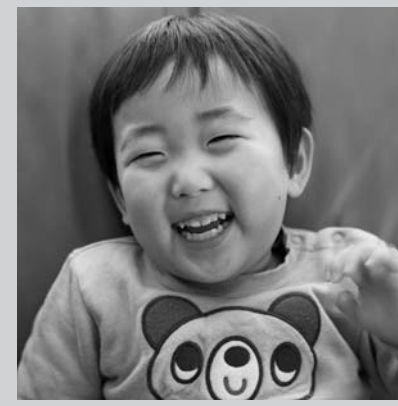
佐藤 史隆くん
(石越町第一区)
平成17年10月12日生まれ (2歳)
和仁さんの長男

史隆くんはアンパンマンが大好き。いつもビデオを見たり、お気に入りの人形で遊んだりしています。運動神経抜群の史隆くんは、2歳近くあるグラウンドまで元気に走る頑張り屋さんです。



佐々木 結香ちゃん
(津山町本町一丁目)
平成18年8月18日生まれ (1歳)
正義さんの長女

お兄ちゃんと仲良しの結香ちゃん。いつも電車のおもちゃで遊んでいます。天気の良い日は、おばあさんと「もくもくランド」に行つて、すべり台や広場で遊ぶことが大好きな結香ちゃんです。



堅岡 凌生くん
(中田町加賀野一区)
平成17年4月13日生まれ (2歳)
健さんの長男

凌生くんは料理が得意。パパが飲食業の仕事をしているので、一緒にギョウザやケーキなどを作っています。絵本を読むことも大好きで、ママに読み聞かせをする凌生くん。バナナが好物です。



木村 暖ちゃん
(米山町斉藤)
平成18年5月9日生まれ (1歳)
茂樹さんの二女

ミカンに目がない暖ちゃん。1日5個はペロリとたいらげます。音の出る絵本がお気に入り、毎日音を鳴らして見えています。また、テレビから音楽が流れると、上手にダンスをする暖ちゃんです。

3月24日は「世界結核デー」

50年前までは年間死亡者数が10数万人と死亡原因の第1位を占めていた結核。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気と忘れていたら大間違い。多くの方がその怖さを忘れかけている今、世界では年間約200万人もの人々の命が結核によって奪われています。

1882年3月24日は、ロベルト・コッホが結核菌の発見を学会に発表した日。これを記念して、3月24日を「世界結核デー」としました。

【こんなときはすぐ病院へ】

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。せきやタンが2週間以上続いたら、早めに医療機関で受診してください。

【家庭でもできる予防法】

①適度に運動をする。②睡眠時間を十分にとる。③好き嫌いせず、バランスのとれた食事をする。

一人で悩まずに相談を

3月の「こころの相談」

- 眠れない、気分が落ち込む、イライラする
- 家庭や職場、学校などで対人関係がうまくいかない
- 人との付き合いがあっくうだ
- お酒がやめられない
- 物忘れが気になる、認知症による問題行動でどうしたらいいかわからない
- 精神疾患を抱えている本人や家族、関係者など

相談は無料で、秘密は守られます。また、事前に申し込みが必要です。 ※居住地以外のところでも相談できます。

地区	日(曜)	場所	担当	申し込み電話番号
迫	27日(木)	迫保健センター	臨床心理士	☎ 0220 (22) 5554
登米	13日(木)	登米保健センター	カウンセラー	☎ 0220 (52) 5054
東和	18日(火)	東和地域福祉センター	医師	☎ 0220 (53) 4112
中田	21日(金)	中田保健福祉会館	カウンセラー	☎ 0220 (34) 2311
豊里	7日(金)	豊里健康管理センター	カウンセラー	☎ 0225 (76) 4113
米山	19日(水)	米山総合支所	家族相談士	☎ 0220 (55) 2112
石越	6日(木)	石越総合支所	医師	☎ 0228 (34) 2112
南方	6日(木)	南方保健センター	家族相談士	☎ 0220 (58) 2113
津山	13日(木)	登米保健センター	カウンセラー	☎ 0225 (61) 5011

不明な点は、各総合支所市民福祉課 健康づくり係までお問い合わせください

健康 & 福祉

福祉事務所からのお知らせ

オストメイト対応トイレについて



オストメイトとは大腸やぼうこうの病気治療のために、腹部へ人工肛門や人工ぼうこうなどの「排せつ口(ストーマ)」を造設した人をいいます。

オストメイトは、腹部の排せつ口にパウチと呼ばれる補助具(蓄便袋、蓄尿袋)を装着し、溜まった排泄物を一定時間ごと便器や汚物流しに処理しますが、その際パウチや腹部を洗浄する必要があります。

オストメイト対応トイレはその処理を容易に、かつ衛生的にすることができます。

誰しも外出先で、付近にトイレがなくて困った経験をしたことがあると思います。オストメイトにとっては、なおさら切実に感じていることでしょう。

市では、すべての人が安全、安心、快適に活動できる社会の実現を目指し、生活環境整備の一環として、このたび、豊里病院1階の多目的トイレにオストメイト対応トイレを設置しました。病院に用事のある人以外でも遠慮なくご利用ください。

今月中には、佐沼病院にも設置する予定です。市内公共施設では、県登米合同庁舎、市役所庁舎・南方庁舎に設置しています。

なお、ぼうこうまたは直腸機能障害があるストーマ造設者は、日常生活用具給付申請を行うことにより、パウチなどのストーマ用具などの購入費用助成を受けることができます。気軽に各総合支所市民福祉課または福祉事務所社会福祉課障害福祉係までご相談ください。



▲南方庁舎に設置されているオストメイト対応トイレ

【問い合わせ】 福祉事務所社会福祉課 障害福祉係 ☎ 0220 (58) 5551 FAX 0220 (58) 2375

障害者就業相談のお知らせ

- 【相談日】 3月25日(火)
- 【場所・時間】 豊里総合支所 午前10時～正午
県登米保健福祉事務所 午後1時～3時
- 【申し込み】 予約制です。お住まいの総合支所市民福祉課市民福祉係へお申し込みください。
- 【問い合わせ】
▶福祉事務所社会福祉課 障害福祉係 ☎ 0220 (58) 5551
▶各総合支所市民福祉課 市民福祉係

母子健康手帳の交付・妊産婦相談

毎週月曜日 8:30～11:30

母子健康手帳は原則として、住所地の総合支所市民福祉課健康づくり係で交付します。上記以外においでの際は、事前にご連絡ください。

また、妊産婦の健康相談も行っています。気軽にご相談ください。電話での相談も、随時受け付けています。

大切な“いのち”を守るため 献血にご協力ください

3/8(土)	ロックシティ佐沼ショッピングセンター	10:00～12:00 13:00～16:30	全血
11(火)	みやぎ登米農協 迫本店 ヨークベニマル佐沼店	10:00～12:00 13:30～16:00	全血
18(火)	南方総合支所 米山農村環境改善センター	10:00～12:00 13:30～16:00	全血
28(金)	中田保健福祉会館 みやぎ生協 加賀野店	10:00～12:00 13:30～16:00	全血
29(土)	ヨークベニマル佐沼店	10:00～12:00 13:00～16:00	全血

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課 健康推進係 ☎ 0220 (58) 2116

3月の休日当番医

休日急患当番医 ☎ 0220 (22) 2084 (医師会)			
3/2(日)	米谷病院	東和町	☎0220 (42) 2007
9(日)	田中医院	迫町	☎0220 (22) 1155
16(日)	わたなべ内科クリニック	迫町	☎0220 (21) 5335
20(木)	沼倉小児科医院	迫町	☎0220 (22) 6100
23(日)	佐藤医院	豊里町	☎0225 (76) 3420
30(日)	新田診療所	迫町	☎0220 (28) 3398

診療時間 9:00～17:00
休日・夜間診療案内 ☎ 0229 (24) 2267 (24時間)



2月13日までの
3歳児健診(3歳
6カ月～7カ月児)
おし歯がみかっ
た子は、
市内3地区で
26人中12人でした



鈴木 稚菜ちゃん
(南方町高石・和義さん)



渡邊 真悠ちゃん
(南方町荻上・真二さん)



田口 未空ちゃん
(南方町大岳・一久さん)



木川田拓哉くん
(南方町北本郷・崇さん)



千葉日依里ちゃん
(迫町上沢・祐樹さん)



佐藤 尚久くん
(迫町萩洗・勉さん)



鈴木 麻衣ちゃん
(米山町清水・和彦さん)



柳川 大河くん
(南方町狼掛・国重さん)



※()内には申し出があった保護者の名前を掲載しています。



齋藤 遼河くん
(迫町西表・透さん)



尾形 榛杜くん
(迫町内町・拓也さん)



阿部 見也くん
(迫町錦西・博之さん)



佐々木美空ちゃん
(迫町新町・俊之さん)

暮らしの情報

宮城県民による「がん征圧への提言」募集

今後のがん対策の一助にするため、県民の皆さんから「がん征圧への提言」を募集します。

- 【対象】 宮城県民
 【提言のテーマなど】 次のいずれかをテーマとして、1,500～2,000字程度にまとめてください。
 ①県民のがん征圧に対する意欲の向上について
 ②がん検診事業および医療の向上、発展について
 ③地域、職域、家庭内におけるがん予防のための生活環境改善について
 ④そのほか、がん征圧について

- 【募集期間】 3月10日(月)～6月30日(月)
 【入選発表・賞など】 入選者5人と佳作数人を選び、入選者には賞状と賞金5万円、佳作者には賞状と記念品を贈呈します。結果は、応募者全員に通知します。なお、応募原稿は返却しません。
 【応募方法・申込先】 郵送。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記してください。

社会保険相談所開設

健康保険、国民年金など社会保険全般について相談に応じます。
 【3月の開設日】 3月19日(水)
 【時間】 午前9時10分～正午 午後1時～4時30分
 【場所】 迫公民館
 【問い合わせ】 古川社会保険事務所 ☎0229(23)1201

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7-30
 (財)宮城県対がん協会 「がん征圧への提言」募集係
 【問い合わせ】 (財)宮城県対がん協会 法人事業課 ☎022(263)1637

「地域連携交流会」参加者募集

- 【日時】 3月20日(祝) 午後1時30分～4時
 【場所】 登米祝祭劇場 小ホール
 【内容】 ▶第1部:「市民発!市長さん聞いて!私たちの夢」=市内で活動する団体が、日ごろの活動とこれからの夢を発表し、その熱い想いに対して市長がメッセージを贈ります▶第2部:郷土料理を食べながら話し合いをしましょう
 【参加費】 500円(飲食代含む)
 【募集人員】 100人
 【申込方法】 電話
 【申込期限】 3月14日(金)
 【申し込み・問い合わせ】 みやぎNPOプラザ(担当:中川原) ☎022(256)0505

茶会も楽しもう「陶芸教室」参加者募集

- 抹茶わんを作って、その器でお茶を楽しんでみませんか。
 【日時】 3月23日(日) 午後1時～3時
 ※お茶会は4月に「武家屋敷春蘭亭」で開催予定
 【場所】 迫公民館
 【講師】 りばあす陶房 鈴木由香さん(米山町)
 【参加費】 2,500円(材料費、抹茶代含む)、小学生以下=2,000円
 ※陶芸教室のみ参加希望の場合は、500円引き
 【持参するもの】 エプロン、タオル
 【募集人員】 10人程度

- 【申込方法】 電話
 【申込期限】 3月22日(土)
 【申し込み・問い合わせ】 りばあす陶房(鈴木) ☎090(1069)6896

「すくすくフェスタ」参加者募集

- 絵本「どんどこももんちゃん」でおなじみの絵本作家・とよたかずひこさんの読み聞かせがあります。
 【日時】 3月26日(水) 午後1時～
 【場所】 登米祝祭劇場 小ホール
 【対象】 1歳からの乳幼児とその親
 【内容】 読み聞かせ、おもちゃ・絵本コーナー
 【参加費】 300円(子ども一人当たり)
 【募集人員】 親子30組(先着順)
 【申込方法】 電話
 【その他】 参加者全員にとよたさんの絵本をプレゼントします。
 【申し込み・問い合わせ】 NPO法人 すくすく保育研究所(堀田) ☎090(2999)8253

「ビデオで学ぶ食育学」参加者募集

- ビデオ鑑賞や身近な食材で作る健康食を食べながら、食育について話し合いませんか。
 【日時】 4月9日(水)、27日(日) いずれも午前10時～午後3時
 【場所】 登米祝祭劇場
 【講師】 引地ユリさん(看護師、助産師の資格を持ち、横浜の中学校で養護教員として38年間勤務。退職後、食の大事さについて講演活動中)
 【募集人員】 各30人
 【参加費】 300円(資料代)
 【申込方法】 電話
 【申込期限】 開催日の1週間前
 【申し込み・問い合わせ】 山田 ☎090(8614)0733

林林館陶芸教室参加者募集

- 五月人形を作ってみませんか。
 【日時】 3月30日(日)・31日(月) いずれも午前10時～正午
 【場所】 林林館2階
 【講師】 瑞樹窯 笠政彦さん
 【材料費】 2,000～2,500円
 【募集人員】 各20人
 【申込方法】 電話
 【申込期限】 開催日の3日前
 【申し込み・問い合わせ】 林林館 ☎0220(45)1821 瑞樹窯 ☎0220(45)1226

3月のパソコン相談室

- ◆パソコン教室 ワードで引っ越しのがきや、エクセルの基本操作を勉強してみませんか。
 ①ワード
 【日時】 3月11日(火) 午前10時～正午

- 3月14日(金) 午後7時～9時
 ②エクセル
 【日時】 3月18日(火) 午前10時～正午 3月21日(金) 午後7時～9時
 ①・②共通事項
 【場所】 迫にぎわいセンター
 【受講料】 2,000円
 【申込方法】 電話
 【申込期限】 受講日前日
 ◆出前コース 都合の良い時間に合わせて、あなたの自宅にパソコンを持参して、相談に応じます。
 【料金】 1コース5,000円(4時間)
 【申し込み・問い合わせ】 NPO法人パソコン・ネット・みやぎ ☎0220(21)5262

登米祝祭劇場 3月のイベント情報

- ◆佐藤たか子 ドライフラワーアレンジ展
 【日時】 3月1日(土)～30日(日) 午前10時～午後5時
 【場所】 レストラン蓮房
 【入場料】 無料

- 【問い合わせ】 登米祝祭劇場 ☎0220(22)0111
 ◆新舞踊まつりチャリティショー
 【日時】 3月9日(日) 午前11時～
 【場所】 大ホール
 【入場料】 前売り 1,500円
 【問い合わせ】 新舞会 ☎0220(34)3525
 ◆宝くじ文化講演 ～古澤巖&東儀秀樹～「午後の汀」
 【日時】 3月27日(木) 午後6時30分～
 【場所】 大ホール
 【チケット】 完売
 【問い合わせ】 登米祝祭劇場 ☎0220(22)0111



e-Taxで確定申告

オンラインでらくらく。国税電子申告・納税システム

さらに便利で使いやすい!
ネットでもどこでも申告・納税。

e-Tax

国税電子申告・納税システム

ネットで「ラクラク」、はじめよう。

確定申告 検索

www.nta.go.jp

ご準備はお早め!

e-Taxのご利用に当たっては、開始届出書の提出、電子証明書(ICカードリーダーライターを含む)の取得等の事前の手続きが必要となります。詳しくは、ホームページをご覧ください。

さらに便利で使いやすい! 確定申告は、e-Taxをご利用ください。

HPからカンタン申告

最高5,000円の税額控除

添付書類が提出不要

還付金がスピーディー

申告と納付の期限は、

所得税・贈与税

3月17日(月)まで

e-Taxは、所得税の確定申告期間中、24時間受付を行っています。

税務署の閉庁日(土・日・祝日)は、相談及び受付は行っておりませんが、申告書は、郵便若しくは信書便による送付又は税務署の時間外収受箱への投函により、提出することができます。

振替納税をご利用の方へ

所得税

平成19年分の振替日は、**4月22日(火)**

個人事業者の消費税・地方消費税

3月31日(月)まで

消費税・地方消費税

振替納税をご利用の方へ

消費税・地方消費税

平成19年分の振替日は、**4月24日(木)**

◎申告と納税は期限内に。 ◎納税は便利な振替納税で

税務署

25 Mar.2008

Tome 24

3月から転校手続きが総合支所でもできます

これまで転校手続きは、教育委員会学校教育課(市役所中田庁舎3階)で行っていましたが、3月からは住民異動届(転入・転居届)と一緒に各総合支所市民福祉課でもできるようになりました。

ただし、次の場合は従来どおり、教育委員会学校教育課での手続きとなりますので、ご注意願います。

- ▶住民異動届で指定された学校以外の学校に転校を希望する場合
- ▶住所を変更しないで転校を希望する場合

【問い合わせ】

教育委員会学校教育課 学事係
☎ 0220 (34) 2679

歴史博物館からのお知らせ

①くらしで楽しむ紋切紙～竹うちわ作り～

【日時】 3月16日(日)
午前10時30分～11時30分

【場所】 歴史博物館
【定員】 30人
【参加費】 500円
【持参する物】

はさみ、ピンセット、たわし
②ふろしき講座～生地と文様を楽しむむき方～

【日時】 3月23日(日)
午前10時30分～11時30分、午後1時30分～2時30分

【場所】 旧亘理邸(歴史博物館敷地内)
【内容】 ふろしきで瓶包み、箱包みなどの仕方を学びます。

【参加費】 無料

①・②共通事項

【申込方法】 電話

【申込期限】 開催日の3日前

【申し込み・問い合わせ】

歴史博物館
☎ 0220 (21) 5411



◀竹うちわ作りの見本品とふろしきの瓶包みの見本品

るるばパソコン講習会受講生募集

市民のIT技術向上を目的としてパソコン講座を開催します。

◆文書作成(ワード)初級講座

【日時】 3月18日(火)～20日(木)
午後7時～9時

【場所】 南方住民情報センター「るるば」(市役所南方庁舎内)シアターホール

【内容】 文書作成ソフト(ワード)の基本用語、基本操作、文書作成などを中心に、初級操作を勉強します。

【定員】 18人(先着順)

【受講資格】 市内に在住または勤務している人で、入門講座を受講した人または同程度の知識のある人(マウス操作や文字の入力ができる人)

【参加費】 1,000円(テキスト代)

【受け付け】 3月7日(金)
午前10時から電話受け付け開始

【申し込み・問い合わせ】
南方住民情報センター「るるば」
☎ 0220 (58) 5557

東和・中田・米山子育て支援センター登録者募集

みんなで楽しく遊んだり、おしゃべりしたりして過ごしませんか。

		東和子育て支援センター	中田子育て支援センター	米山子育て支援センター
対象		市内在住の0歳～就学前の子どもと保護者(家族の人)		
活動内容	遊びの広場	【曜日】 ○錦織地区＝毎週火曜日 ○米谷地区＝毎週水曜日 ○米川地区＝毎週金曜日 【時間】 午前10時～11時30分 ※3地区共通	【曜日】 毎週水曜日 【時間】 午前10時～11時30分	【曜日】 毎週火曜日・木曜日 【時間】 午前9時30分～11時
	自由来館	【場所】 東和子育て支援センターのみ 毎週月曜・火曜・木曜・金曜日の午前10時～11時30分	毎週月曜～金曜日の午前9時30分～11時30分、午後1時30分～3時	毎週月曜・水曜・金曜・土曜日の午前9時30分～11時
	その他		【自主サークル(わくわくキッズサークル)】 毎週金曜日の午前9時30分～11時30分	【育児相談・絵本貸し出し】 毎週月曜～土曜日の午前9時30分～11時
申込方法	申込用紙に必要事項を記入の上、登録する支援センターに提出してください。			
申込用紙備え付け場所	○東和子育て支援センター ○東和町内各公民館	○中田子育て支援センター ○中田児童館	○よねやま保育園	
申込期限	4月7日(月)	3月31日(月)	4月10日(木)	
申し込み・問い合わせ	東和子育て支援センター ☎ 0220 (42) 2230	中田子育て支援センター ☎ 0220 (34) 3505	米山子育て支援センター ☎ 0220 (55) 5133	

火葬場付近下水道工事に伴う迂回路利用について

現在、火葬場本体工事に合わせて下水道工事を行っています。

火葬場の利用、付近を通行する際は、現場誘導員の指示および表示に従い、迂回路を利用してください。

また、火葬場を利用する際は、車の乗り合わせに協力をお願いします。

【下水道工事完了予定年月日】

平成20年5月15日

【問い合わせ】

建設部下水道課 公共下水道係
☎ 0220 (34) 2358

「ねんきん特別便」が送付された人を対象に相談会を開催

社会保険事務所では、「ねんきん特別便」が送付された人を対象に、臨時の相談会を開催します。送付された封書を持参してください。

【日時】 3月19日(水)
午前9時10分～午後4時30分
【場所】 迫公民館1階 研修室

国民年金だより

異動の時期は、国民年金の届け出の時期です

年金の加入者は、職業などによって3つの種別に分かれており、種別が変わるときは届け出が必要になります。春は、就職・転職・進学など異動の多い時期です。何かと慌ただしくなり、いろいろな届け出をつい忘れがちです。早めに届け出をしましょう。

こ ん な と き	変更後の種別	届出先
-----------	--------	-----

◆第1号被保険者(自営業者、学生、フリーターなど)

就職して、厚生年金や共済組合に加入したとき	第2号被保険者	勤務先
第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先

◆第2号被保険者(会社員や公務員など)

退職したとき	第1号被保険者	各総合支所市民福祉課
退職して、第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先

◆第3号被保険者(第2号被保険者である配偶者に扶養されている人)

収入が増えるなどして、扶養から外れたとき	第1号被保険者	各総合支所市民福祉課
扶養している配偶者が65歳になったとき		
就職して、厚生年金や共済組合に加入したとき	第2号被保険者	勤務先
扶養している配偶者が会社を変わったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先

【問い合わせ】 市民生活部市民課 ☎ 0220 (58) 2118
古川社会保険事務所 ☎ 0229 (23) 1203

第1回 登米市環境まつり in ロックシティ



日時 3月15日(土)・16日(日) 両日とも午前10時から午後4時まで

場所 ロックシティ佐沼セントラルコート

楽しみながら環境について学んでみませんか。

◇主な内容

①気象予報士・鈴木智恵さんによる環境出前授業(3月16日のみ)

▶1回目:午前11時～11時45分
▶2回目:午後1時30分～2時15分

【テーマ】 地球温暖化問題

※参加者には、市環境キャラクターの「トメル君・オトメちゃん」がプリントされた市特製マイバッグをプレゼントします(先着50人。ただし、当日必ず出前授業に出席する人は予約することができます)。

②クラフトワーク(3月15日のみ)

県森林インストラクター協会の皆さんが、自然の素材を使った遊び道具や楽器などの作り方を教えてくれます。

③世界に一つだけのマイバッグ作製

トメル君・オトメちゃんがプリントされた市特製マイバッグに色付けをして、オリジナルのマイバッグを作ってみよう。両日とも先着250人まで。事前予約はできません。

④トメル君・オトメちゃんの描き方教室

トメル君・オトメちゃんの作者・永井絵美さんと佐沼高校美術部の皆さんが、絵描き歌による上手な描き方を教えます。

⑤トメル君・オトメちゃんのぬり絵大会

17種類あるトメル君・オトメちゃんのぬり絵に挑戦してみよう。優秀作品には、後日、賞品を贈ります。

⑥環境パネルの展示

【予約先・問い合わせ】
市民生活部環境課 環境政策係 ☎ 0220 (58) 5553



武家屋敷「春蘭亭」
(登米)

登米町内に現存する武家屋敷は多数ありますが、その中の一つに観光客のお休み処として利用されている「春蘭亭」があります。

春蘭亭は、登米伊達初代藩主の相模宗直公が慶長9年(1604)に、岩手県水沢城から登米に移る際、共に移住した鈴木家の屋敷です。ほかの武家屋敷が別棟として書院座敷を本屋の前面に配しているのに対して、書院座敷に相当するものを別棟とせず、直接本屋の上手へ取り込んだ「直ご家形式」となっています。この形式は上層家中侍住宅としては珍しく、貴重な侍住宅遺構といえます。

前述の鈴木氏は、現在の和歌山県である紀伊の国、熊野の鈴木氏から分かれた一族で、平成元年に屋敷を登米町に寄付しました。町ではこれを受け、屋敷内に囲炉裏を囲む喫茶コーナーを翌年にオープンし、それ以来、多くの利用者に愛され続けています。

これからの時期、名称の由来にもなっている春欄入りの「春欄茶」を飲みながら、春の足音を肌で感じてみてはいかがでしょうか。

【所在地】登米市登米町寺池桜小路79番地
【問い合わせ】春蘭亭 ☎ 0220 (52) 2960

歴史博物館

広報ミニ展示室 23
= 杜若八橋文様 =



杜若八橋文様浴衣(巨理家伝来)は、現在歴史博物館で展示中です。

この文様は巨理家伝来の浴衣に染められているものです。文様の由来は、「からころも きつつなれにし つましかれば はるばるきぬる たびをしぞおもう」の歌にあります。六歌仙の一人在原業平が三河の国の八橋で読んだ歌で、「伊勢物語」の「東下り」に登場します。歌の五七五七七の最初の字を拾ってみると、「かきつばた(杜若)」になり、杜若と八橋を組み合わせた文様は古典文学の世界を表現しているのです。

スポーツ講演会

“不可能を可能に”

3/20 (祝)

講師

ゼッターランド・ヨーコ
～スポーツキャスター～



- 日 時 平成20年3月20日(祝)午後2時～ ※開場午後1時30分
- 場 所 登米祝祭劇場(大ホール)
- 入場料 無料(全席自由) ※整理券必要
- 整理券 教育委員会各事務所、迫体育館、登米・中田総合体育館、登米祝祭劇場で、3月3日(月)から配布します(郵便では受け付けません)。
- 問い合わせ 教育委員会体育振興課 ☎ 0220(34)2649

ゼッターランド・ヨーコさん

【プロフィール】日本名：堀江陽子。1969年米国サンフランシスコ生まれ。父は米国人、母はバレーボール元全日本代表セッターの堀江方子(まさこ)。6歳のとき日本に移住。12歳からバレーボールを始め中学3年で全国優勝。その後、全日本ジュニアメンバーとしてアジアジュニア選手権で優勝。早稲田大学卒業直前に渡米し、米国ナショナルチームのテストに合格。92年バルセロナ五輪で銅メダルを獲得。96年実業団の東芝を経て97年ダイエーとプロ契約し、2年間の在籍中にVリーグ優勝1回、全日本選手権2連覇に貢献。その3大会すべてにおいてベスト6を受賞する。99年、現役を引退。現在はスポーツキャスターとしてテレビ、ラジオ出演のほか、後進の指導、エッセー執筆、講演、バレーボール教室など幅広く活躍。



「モバイルとめ」もご利用ください。
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>